

北京世界女性会議2周年 北京 JAC 第2回シンポジウム

第13分科会 女性と教育

逐次刊行物

平 9.8.27 成

国立婦人教育会館
 婦人教育情報センター

「男女共同参画ができる 子どもたちを育てる」

長崎ばってんうーまんの会

ばってんうーまん
 BAITEN. No. 18

NGO7+ラムで男女混合名簿を
 '95北京世界女性会議 世界の女性に訴える

SEX DISCRIMINATION ENCOURAGED
 IN JAPANESE PUBLIC EDUCATION

In Japan, it has been taken for granted that
 the names of boys come first and those of
 girls second in whatever kind of data on the
 students the schools maintain.
 In addition, virtually all of the members of the

女と男をなぜ分ける

学校の中から 女をかえる男をかえる

私は、学校で使われているあらゆる名簿を男女混合五十音順名簿にしてください
 すでにある小学校の造りです。いつもは、先生は校舎の入り口に立っています。

ばってんうーまん
 BAITEN. No. 18

絶対に許せない!!
 在沖繩米軍兵士の性暴行事件に抗議

私たち長崎の女性たちは、8月13日午後で発生した性暴行事件に抗議して大
 勢で集まりました。この事件は長崎市の中心、五人の米軍兵士一人が女性を暴行、強
 姦、強姦されたという事実が明らかになりました。これは女性に対する暴力
 行為であるという認識をもち、一人の女性にだけ責任を押しつけるのではなく、
 社会全体が責任をもち、女性を尊重する社会を作りたいと訴えました。

ばってんうーまん
 BAITEN. No. 18

3月には愛媛県、
 また
 女性のための
 情報センター
 についていきたいと思います。

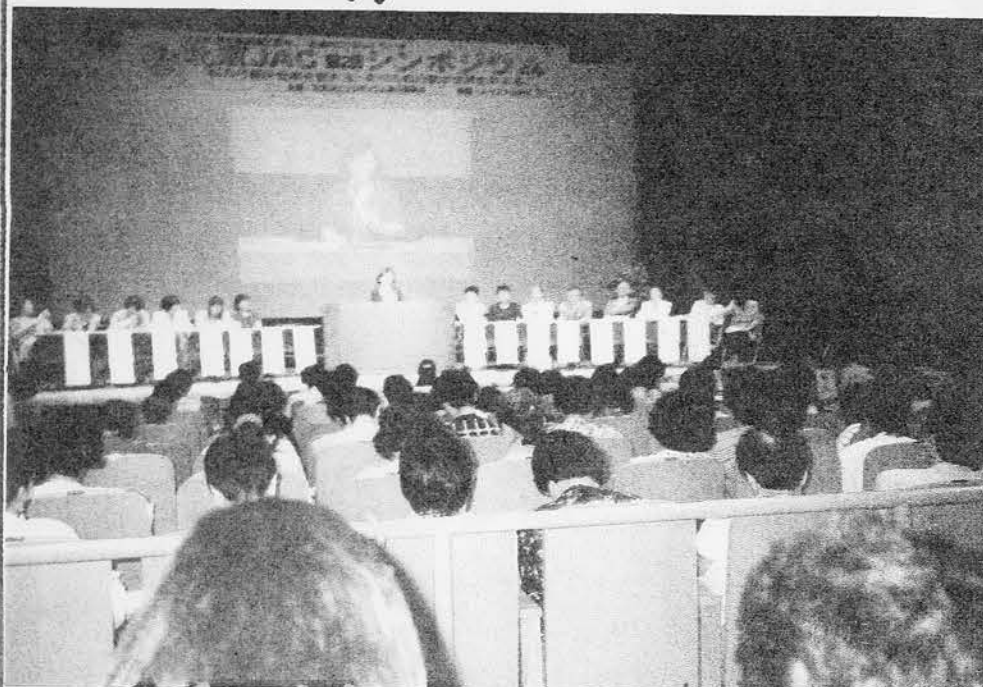


海付長崎新聞

女性センター
 採用を
 ばってん
 うーまん
 の女性の名
 義で募集
 た問題で、
 ばってん
 うーまんの
 二十八日、長崎本部を
 留守に女性を採用す
 うための準備をすす
 めています。

1997. 7. 12. (土)

<全体会>



国内外のさまざまなメンバーを集めた第一部 第二部 行事。
第一部「国連へのロビーイング、アジアとのネットワーク」では、武者小路公秀氏の司会のもとに、中西珠子、原ひろ子、韓明淑、大沢真理の各氏。
第二部「2000年プランへの提言と行動」では、第一分科会、第十四分科会までの問題提起を、発言者各氏が行いました。(発言者については180号を参照ください)

<写真上> 第7分科会への問題提起を、篠崎正美さんが発言しているところです。
北京、TAC、山崎、中澤、江崎、はくと、会々、あきよ

楽しかったネ 女たちの大集合!

閉会後 私たちの分科会と組んで頂いた船橋邦子さんとパタリノ、船橋さんの問題提起はとてもすごかった——「ジェンダーの視点から教育を考える会」をもてあられるのだから、昨夏文部大臣が諮問した「新たな時代に向けた教員養成の改善方向」の中に、男女共同参画社会をめざす教育を働きかけていくのです。



13. 女性と教育

問題提起者 船橋邦子

(1) ジェンダーに敏感な視点を組み込んだ教育とは

ひとりひとりが女性差別、固定的性役割観に気づく力をつける教育
⇒教育慣行(出席簿、校則、行事など)生活指導、進路指導、特別教育活動など「隠れたカリキュラム」に潜む、男女観の区別、不平等を検討し、ジェンダーバイアスを克服すること

(2) 「ジェンダーの視点から教育を考える会」の発足と活動

教育職員養成審議会への働きかけ

11月 要望書提出

1月 シンポジウム「教育にジェンダーの視点を」開催
その後の活動「審議会への働きかけ」「ジェンダーフリーな教育実践の全国ネットづくり」へ

3月 教養審議会カリキュラム等特別委員会との折衝

6月 5月に出された「教養審議会経過報告」に対し「意見書」提出

(3) 「教育にジェンダーの視点を」全国同時多
活動さ

分科会での問題提起者

池田玲子

担当グループ

ばってんうーまんの会

別紙参照



● 限りなく可能性と能力を引き出すはずの教育の中で、「隠れたカリキュラム」によって児童生徒の芽が無意識のうちに摘まれていく現状があります。
カリキュラム・教科書・学校の中での行動や役割、「性の教育」をジェンダーの視点で洗い直していくことが今、求められています。「男女混合名簿」と「性」の教育で男子集団の持つ力の威嚇を取り去り、対等に向き合える教育について提案します。

問題提起者

池田 玲子

司会者

門 更 月

内容

18:45~19:00

はじめに

船橋邦子さん

19:00~19:10

ばってん・うーまん会は、なぜ「教育の中でのあらゆる男子優先名簿」にこだわったか。

19:10~19:25

NBCテレビ朝日放送「教育の中の男女差別」ビデオ放映

19:30~20:10

男女をとともに五十音順に入れ込んだ「混合名簿」を基底においたジェンダー・フリーの教育で、子ども達はどうか変わったか。

20:10~20:50

フリートーク

20:50~21:00

船橋さんによるまとめ 別 分科会報告のための提案

分科会 報告

予定人数をはるかに
オーバーした盛況ぶり
でした。

船橋邦子さんからの緊急アピールがありました。
「家庭科教科書検定」について、文部省に
フリーング電報を打とう!!

は、180号を御覧下さい。各項目からは、女性たちの確かな足どりが伝わってきます。

シンポジウムの最後に、今後私たちがめざす2000年プランを作り、確認し合いました。右にある番号は、分科会番号です。(分科会名と番号)

私たちがつくる2000年プラン

分科会で政府と地方自治体へ向けてのプランと、
私たち自身の活動目標が打ち出されました。

- 日本政府が行う政策
- 広い視野からの総合的な性暴力防止法を制定しよう (1)
- 国連のクマラスワミ勧告を完全実施し、被害女性の名誉と尊厳の回復を図ること (2)
- 地方自治体が行う施策軍事関連予算を削減し、平和的目的への転換ならびに福祉、教育へ活用する (3)
- 山林転用規制法及び企業のデボジット制の制定を要望 (4)
- ジェンダーの視点に立ったアンペイドワークの測定・評価 (基礎統計の整備) 政策展開 (5)
- 国会の附帯決議を踏まえた指針・通達の方針および情報の公開 (6)
- 制定準備中の新農業基本法に女性農林漁業者、生産者、生活者の意見を多く反映させる (7)
- (子の姓を出生時に決める) 選択的夫婦別姓、婚外子差別の撤廃を盛り込んだ民法改正の早期実現 (8)
- ライフサイクルを通じて女性の健康を保持する観点から新しい法律づくり (9)
- 2000年プランに基づき、政策方針決定への女性の参画の20%早期実現と国際目標30%の達成を求める (10)
- 男女共同参画社会の実現の促進を図るための法律の制定及び本部機構の機能強化 (11)
- 経済のグローバリゼーションを乗り越えるような国際法の批准など法的整備を進める (12)
- 固定的性別役割観を打破し、性差別を見抜く力をつける教育政策を講ずること (13) ●
- 女性の参画を促すためメディアに具体的目標値や年次計画を策定するよう促す (14)
- 地方自治体が行う施策
- 行動計画に女性に対する暴力への取組みを入れる (1)
- 教科書「慰安婦」記述削除要求に反対し歴史の真実を伝える努力をすること (2)
- 公正と寛容、多様性を尊重する教育を早い年齢から始め平和な街づくりに努める (3)
- 管轄区域に責任を持つ条例の制定 (4)
- 家庭・地域でのアンペイドワークを調査して具体的な政策展開をする (5)
- 派遣・契約・パートなどの雇用の多様化に対応する女性労働者の実態調査を行い、男女雇用機会均等対策基本方針策定に反映すること (6)
- 家族経営協定の推進は、女性の労働に見合った報酬額、ペイドワークとアンペイドワークのバランスをはかる (7)
- 一つ一つの施策に個を基本とした考え方を反映させる (8)
- 女性の健康づくりのための環境づくり (9)
- 「女性行動計画」の策定の推進体制の整備を進め、政策方針決定への女性参画の拡大を求める (10)
- 男女共同参画推進担当部署の格上げと機能強化を図る (11)
- 移住者の医療支援のような国際化に対応する国際交流政策を住民の参加により推進する (12)
- 男女平等教育ガイドラインを作成し、男女混合名簿の実施を優先課題とすること (13) ●
- 2000年に向けての私たちの活動目標
- 法の制定に向けて活動をベースにした私たちの望む法案作りをする (1)
- 元日本軍慰安婦の方が生きていてよかったと思えるような運動を強めること (2)
- 一人一人が自分の足元から行動を起こし、全国の女性とネットワークを広げる (3)
- 国政、地方議会首長への女性選出とともに生活者の認識と行動 (4)
- 男性や子どもをアンペイドワークへ参入させるための社会整備 (5)
- 雇用構造の変化を的確にとらわれて現実を変える力をつけ政策決定の場への意志反映を図る (6)
- 地方議会、農業委員会、JA組織等の政策決定の場に参画し、女性が望む農林漁業政策を提言しよう (7)
- 自筆のハガキを地元選出議員に送ることから始まる行動の積み重ねを広げていく (8)
- 女性の心と身体の健康についての研究、活動、および相談体制の確立 (9)
- 2000年までに女性の地方議員ゼロ議会をなくし、全国平均10%をめざそう (10)
- 私たちの求める女性基本法案を研究し作成する (11)
- 国内、国際レベルの他分野のNGOのネットワークを強化し人権教育を進める (12)
- ネットワークの輪を広げ、男女混合名簿の実施を自治体に働きかけていくこと (13) ●
- メディア・ウォッチやメディアへの意見を表明していくネットワーク作りをする (14)